

町民ワークショップ開催概要（案）

1. 町民ワークショップの目的

- ・町民と各課のキャッチボールで、基本構想の主に目標・目標値・各主体の役割の素案を作成します。

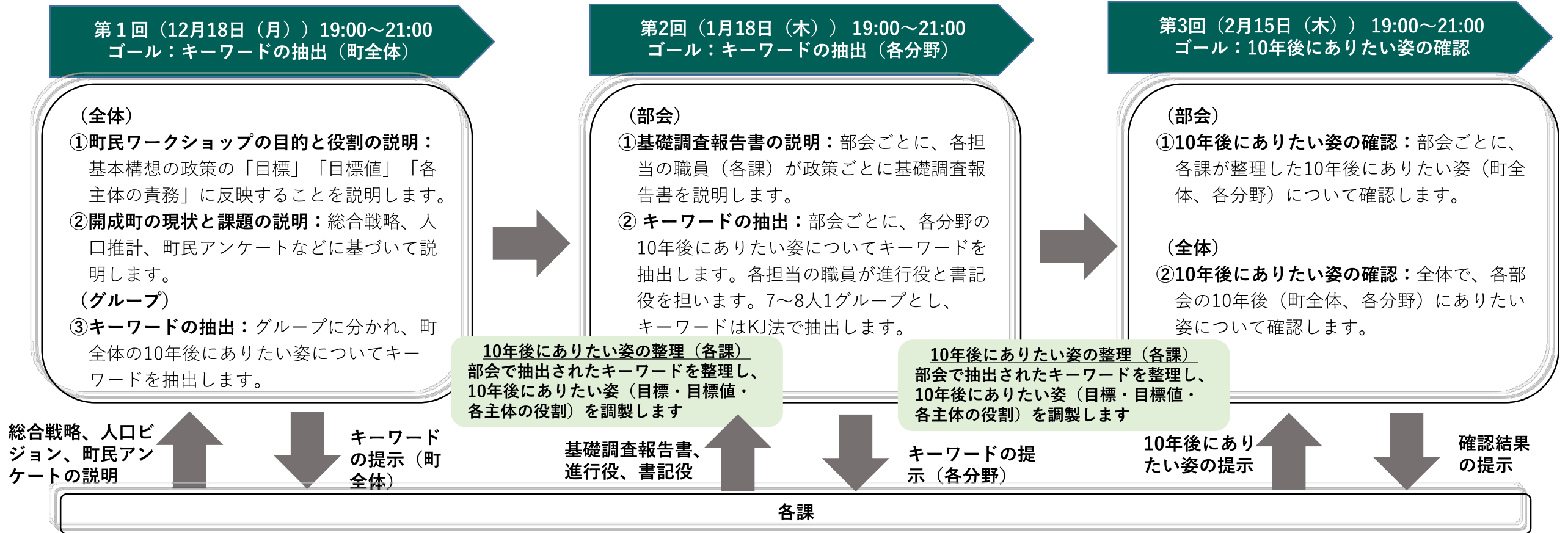
2. 参加者の役割

- ・次期基本構想の計画期間（概ね10年後）の主にありたい姿について、町民の立場から意見を述べます。

3. 進め方

- ・各課と町民の協働で進めます。第1回で町全体の10年後にありたい姿、第2回で各分野の10年後にありたい姿について議論を行い、第3回でその結果を確認します。
- ・部会では職員がファシリテーター、書記を担当します。そこで、町民ワークショップに参加する職員を対象にファシリテーター育成研修を実施します。

ファシリテーター育成研修（対象：各課／第1回WS前実施予定）
意見の発散・収束・決定をスムーズに進めるファシリテーションの技術を学びます。



ファシリテーター育成研修（案）

<p>研修の目的</p>	<p>○総合計画を町民が「自分事」として捉えられるように、基本構想は町民ワークショップにおいて、町民が主体となって作成する。 ○町民ワークショップの回数・時間は限られており、効果的な意見交換と意思決定を行うには、意見の発散・収束・決定をスムーズに進めるファシリテーションの手法が欠かせない。 ○本研修では、町民ワークショップにおいて主体的な役割を担う町の若手・中堅職員に対して、講義・演習を通じて実践的なファシリテーションの手法を解説する。</p>
<p>受講対象者</p>	<p>開成町役場の若手・中堅職員 等（6～7グループ×2名（ファシリテーター1名、書記1名）＝12～14名）</p>
<p>日時</p>	<p>2023年12月18日（月）14時半～16時半（仮）</p>
<p>会場</p>	<p>開成町役場</p>
<p>研修内容</p>	<p>1. 【講義】ファシリテーションの基本 ①ファシリテーションの流れ ②ファシリテーションのルール ③発散の仕方 ④収束の仕方</p> <p>2. 【演習】ファシリテーション演習</p>
<p>資料・備品</p>	<p>【備品】 ・模造紙（グループ数×2枚）、ふせん（75mm×127mmグループ人数分）、マジック（〃）、ホワイトボード、お茶・お菓子 ・プロジェクター、スクリーン</p> <p>【配布】 ・テキスト、ワークショップ開催概要、町民ワークショップの進め方（当日のスケジュール）、基礎調査報告書、アンケート調査結果報告書</p>

第1回町民ワークショップの進め方（案） 目的：キーワードの抽出（町全体）

時間	内容
19:00～19:30	<p>1 全体会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ①開会 ②町民ワークショップの目的と役割の説明（日本生産性本部） ③開成町の現状と課題の説明（開成町）
19:30～20:50	<p>2 開成町の10年後のありたい姿について（町全体）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各自が簡単に自己紹介します（5分） ・ファシリテーター説明（2分） ・各自が開成町の10年後にありたい姿についてふせんに記載します（5分） ・各自が記載したふせんを模造紙に貼り付けていきます（25分 ※キーワード抽出の時間含む） ・進行役が模造紙を見ながらキーワードを抽出します ・書記役（1名）はメモをとり記録します <p>※グループごとに協議します（1グループ5～6人程度）</p> <p>【発表 20:30～20:50】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各グループ5分程度で発表を行います
20:50～21:00	<p>3 閉会</p> <ul style="list-style-type: none"> ①全体の振り返り ②次回案内

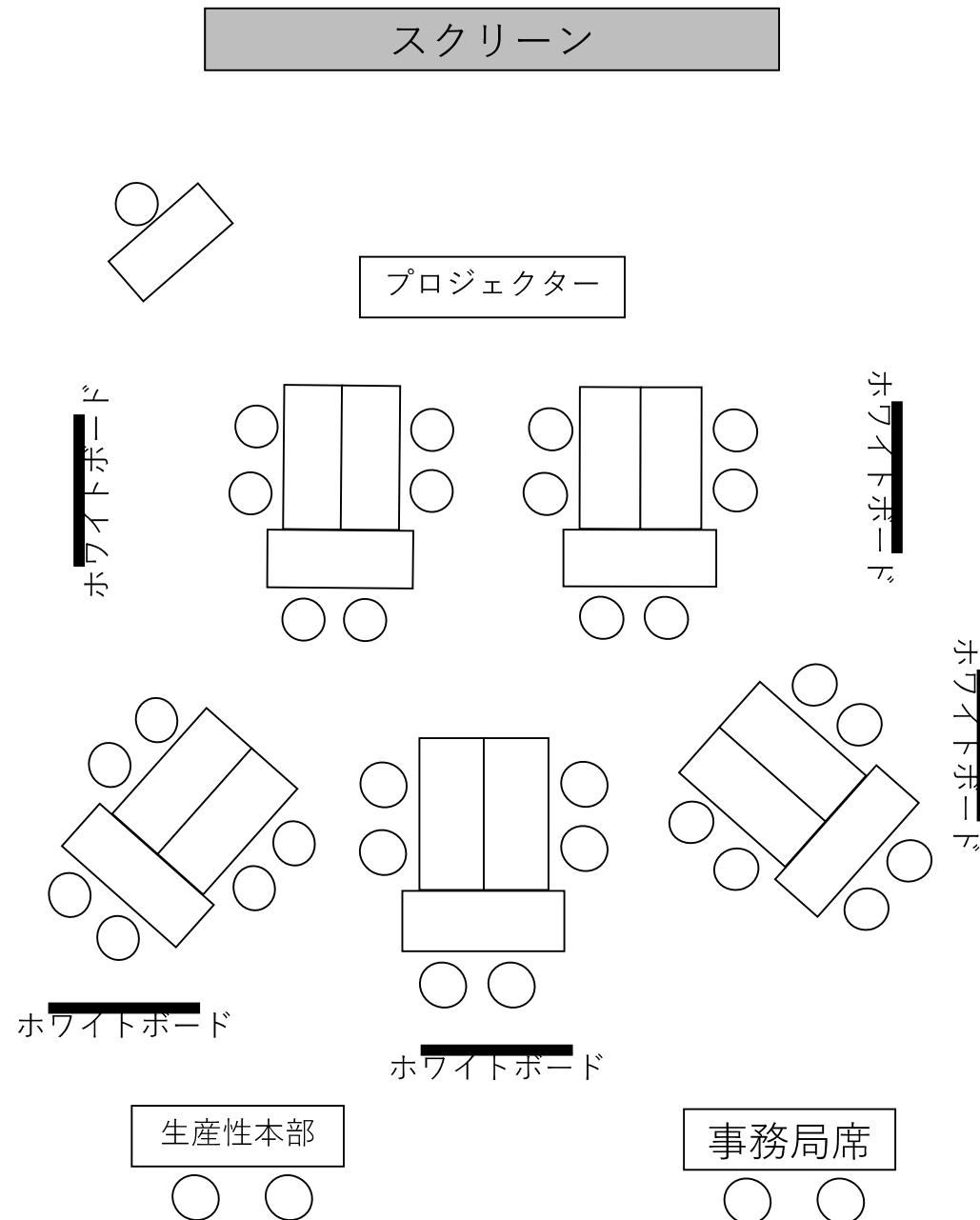
第2回町民ワークショップの進め方（案） 目的：キーワードの抽出（各分野）

時間	内容
19:00～20:50	<p>1 各分野の10年後のありたい姿について（各分野）</p> <ul style="list-style-type: none">・各自が簡単に自己紹介します（5分）・各担当の職員が政策ごとに基礎調査報告書を説明します。（10分）・各自が開成町の10年後にありたい姿についてふせんに記載します（5分）・各自が記載したふせんを模造紙に貼り付けていきます（20分）・進行役が模造紙を見ながらキーワードを抽出します（20分）・書記役（1名）はメモをとり記録します <p>※グループごとに協議します（1グループ5～6人程度）</p> <p>【発表 20:20～20:50】</p> <ul style="list-style-type: none">・各グループ5分程度で発表を行います
20:50～21:00	<p>3 閉会</p> <ul style="list-style-type: none">①全体の振り返り②次回案内

第3回町民ワークショップの進め方（案） 目的：10年後にありたい姿の確認（町全体、各分野）

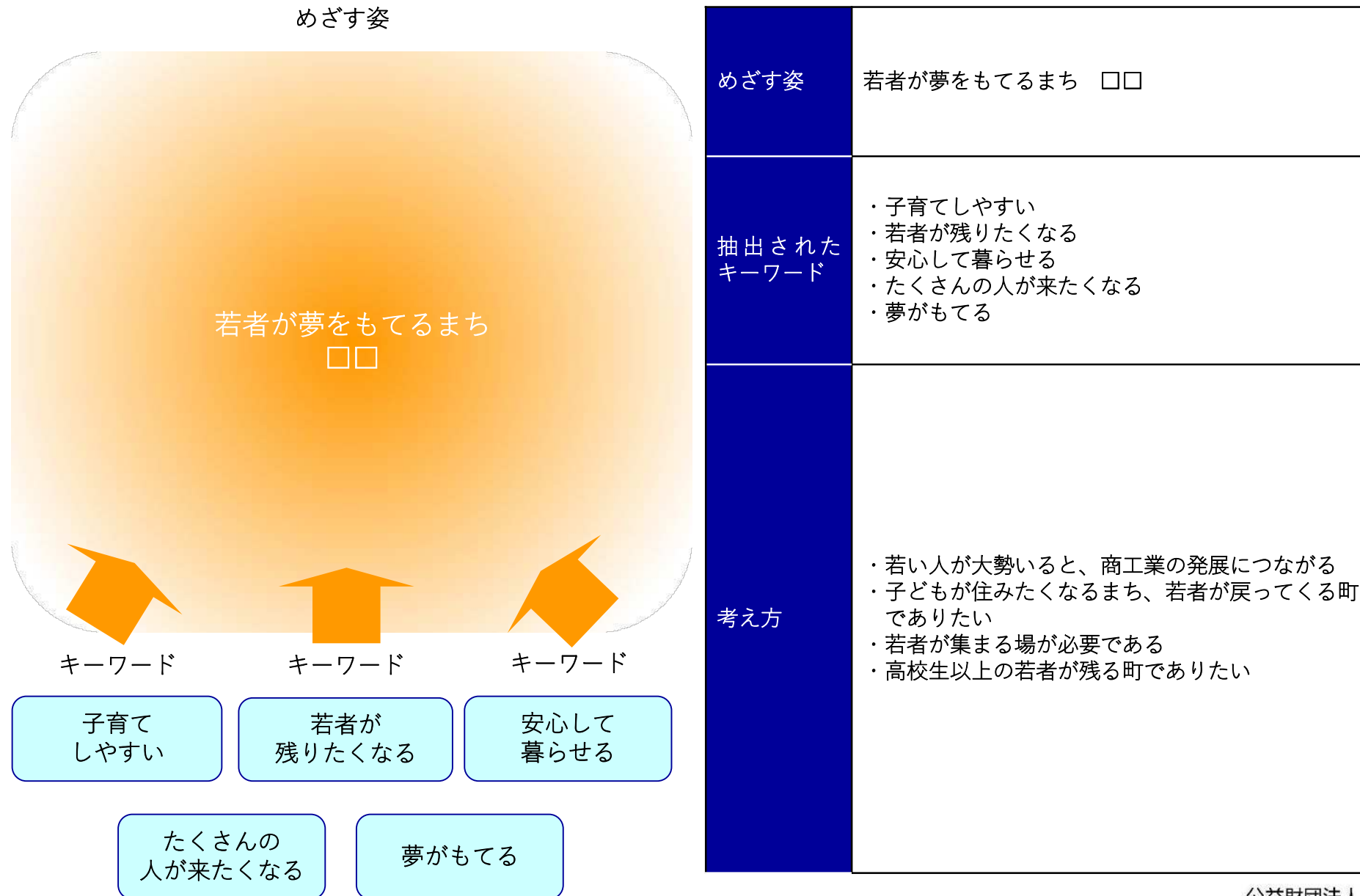
時間	内容
19:00～19:40	<p>1 【確認】町全体のありたい姿について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各担当の職員が10年後のありたい姿（町全体）を説明します。 ・各自が10年後のありたい姿（町全体）についての意見をふせんに記載します ・各自が記載したふせんを模造紙に貼り付けていきます ・進行役が模造紙を見ながら整理します ・書記役（1名）はメモをとり記録します ・最後に2～3グループ発表を行います
19:40～19:50	休憩
19:50～20:50	<p>2 【確認】各分野のありたい姿について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各担当の職員が10年後のありたい姿（各分野）を説明します。 ・各自が10年後のありたい姿（各分野）についての意見をふせんに記載します ・各自が記載したふせんを模造紙に貼り付けていきます ・進行役が模造紙を見ながら整理します ・書記役（1名）はメモをとり記録します ・最後に全グループ発表を行います
20:50～21:00	<p>3 閉会</p> <p>①全体の振り返り</p>

ファシリテーター育成研修、町民ワークショップレイアウト（案）



- 【配布資料】
- ①テキスト
 - ②ワークショップ開催概要
 - ③町民ワークショップの進め方
 - ④アンケート調査結果報告書（第1回）
 - ⑤基礎調査報告書（第2回）
 - ⑥模造紙 各班2～3セット
 - ⑦ふせん
 - ⑧マジック

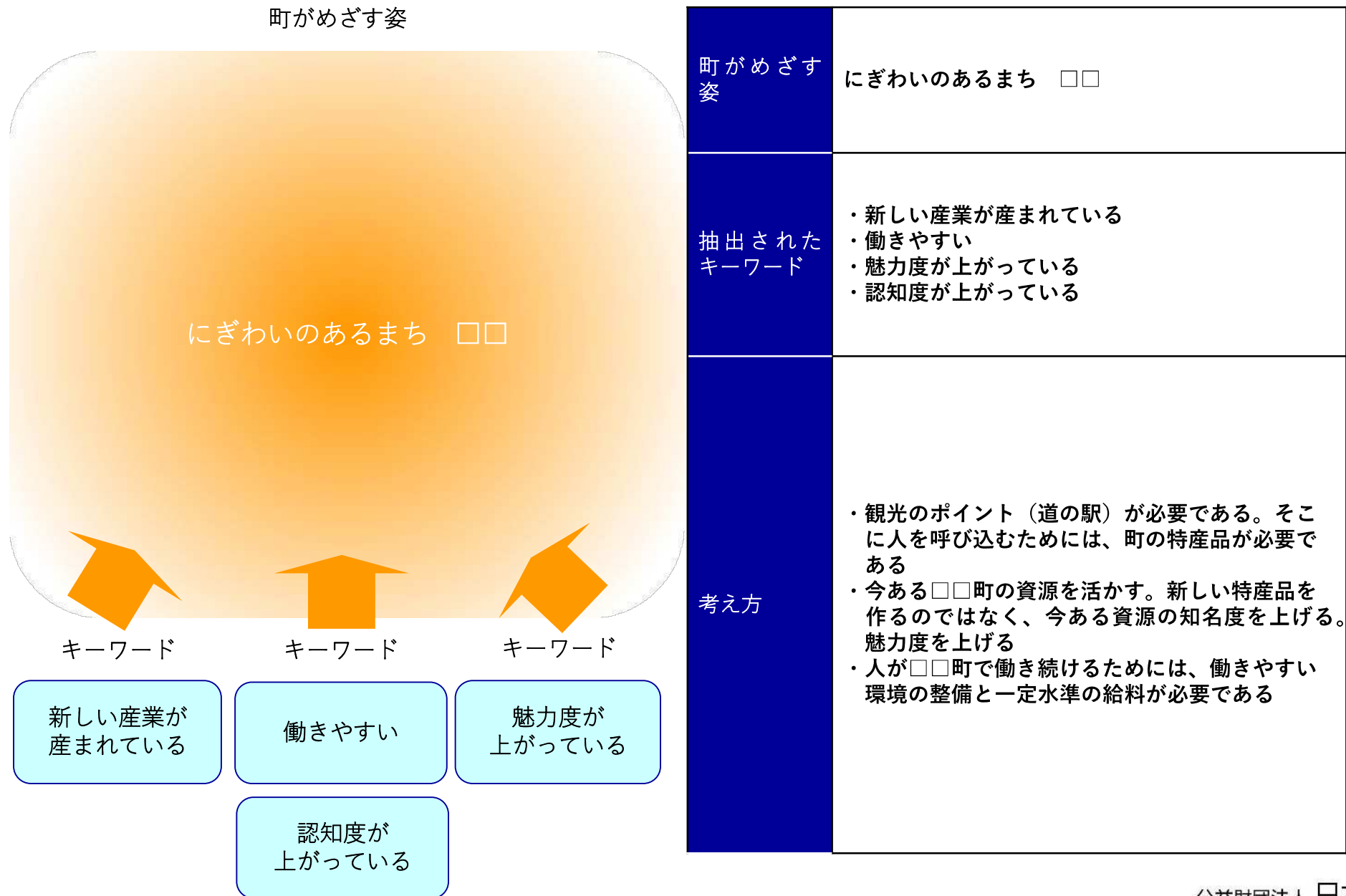
【参考】 10年後のありたい姿の調整①（10年後／町全体）



【参考】 10年後のありたい姿の調整②（10年後／町全体）

将来都市像 (～のまち □□)	めざすべき状態 (～な状態)	考え方	責 務	
			町民	町役場
若者が夢をもてるまち □□	【職業】 創業、起業しやすい状態 (=新しい産業が生まれやすい状態)	・働く場所が少ないという意見が多い。新しい産業がない。若者がやりたい産業を作りたい。若者が自ら新しい産業を作れるようにしたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・働く若者が一人暮らししやすい住まいの提供や整備 ・□□町で働きたい人への情報提供の仕組みづくり ・店舗の利用促進、空き店舗の利活用など、チャレンジしやすい環境づくり ・子どもや若者の目標となる成功事例の提示 ・若者がやりたいという事業へチャレンジできる体制づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業に向けた機運の醸成・情報提供（既に創業に向けた制度はあるため、起業しやすい環境づくりを行う。新しいことに挑戦する人を後押しする）
	【子育て】 多様な働き方ができる状態	・若い人が定着するには、子育てしながらでも働ける環境を整備する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを安心して預けられる環境づくり ・子育ての時間を確保できる勤務体制、就業環境づくり ・職場体験の機会増加、子育てしやすい職場環境のPR、従業員に対する多様な働き方への理解促進 	
	【学び】 地域にしながら新しいことを学んだりチャレンジしたりできる状態	・リモートなどで学習できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・働きながら学ぶことができる環境づくり ・新しい分野や資格取得などの勉強会開催 ・若い人が新しいことを学んだり、チャレンジしたいことを支援する体制・団体の整備 	

【参考】10年後のありたい姿の調整③（各分野）



【参考】 10年後のありたい姿の調整④（各分野）

基本目標	まちづくりの目標	目標値			責務		
		めざすべき状態	考え方	指標	町民	町役場	
就業空間	にぎわいのあるまち □□	1	町に人が集まっている状態	<ul style="list-style-type: none"> 観光振興により町の魅力度を向上させたり、特産品の認知度を向上させたりすることで、人が集まって町に活気が出てくる 	<ul style="list-style-type: none"> 観光入込客数 特産品販売数 特産品販売額 	<ul style="list-style-type: none"> 町民自らが町の良さを発信 町民自身が「□□ブランド」を構築 町民が協力した観光客を呼び込む仕組みを作り 	<ul style="list-style-type: none"> 観光拠点など人が集まりやすい場所の整備 情報発信、PR
		2	若い人たちが活気をもって働いている状態 (=新たな産業が生まれている状態)	<ul style="list-style-type: none"> 若い人が集まると町が元気になる。若い人が集まるには仕事が必要だが、既存の仕事だけでなく、新たな産業（デジタル関係など）が生まれる必要がある 	<ul style="list-style-type: none"> 創業数 (商工会統計) 	<ul style="list-style-type: none"> 若者や子ども達の意見を聞く機会の実施 □□町の仕事の良さを伝承 若者の活動やチャレンジを支える取組 	<ul style="list-style-type: none"> 創業などに向けた情報提供、気運の醸成 デジタル化の推進

参加者募集

次期開成町総合計画

みんなで話そう 町の未来 まちづくり町民ワークショップ

開成町では、今後のまちづくりの方向を定める計画として、次期開成町総合計画を策定しています。

総合計画は開成町という地域全体の計画であり、町民の皆さんとの協働が欠かせません。

そこで、将来のまちの姿を一緒に考えてくださる方を募集します。

あなたのご意見や思いが、開成町の未来につながります。ぜひご応募ください。

第1回
12/18
(月)
19:00～
21:00
令和5年

開成町の10年後の
ありたい姿について、
意見交換をしていただ
きます。また、第2回
で希望するテーマを選
んで頂きます。

第2回
1/18
(木)
19:00～
21:00
令和6年

第1回の議論を踏まえ
て、子育て、教育、健康
づくり、医療・介護、防
犯・防災、産業といった
テーマについて、今後の
まちの方向性を考えま
す。

第3回
2/15
(木)
19:00～
21:00
令和6年

第1回、第2回の議
論を踏まえて、開成町
の10年後のありたい
姿を整理します。

募集人数：35名程度

対 象：町内在住の18歳以上の方
(令和5年10月時点)

会 場：開成町役場 1階町民プラザ(予定)

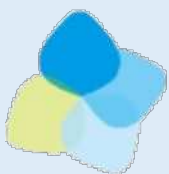
※応募者多数の場合は、年齢・性別等の
バランスを考慮して調整させていただきます。

応募期限：令和5年12月8日(金)

左記、QRコードをスマートフォン等で読み込んで、お申込みください。専門知識は必要ありません。リラックスした雰囲気で開催しますのでお気軽にご参加ください！

尚、第1回から第3回のテーマは連動しているので、可能な限り全3回にご参加ください。

申込みフォーム



田舎モダン

開成町

kaisei town

開成町役場 企画政策課

〒258-8502 神奈川県足柄上郡開成町延沢773番地

電話：0465-84-0312

メール：kikakuka@town.kaisei.kanagawa.jp